



メルセデス・ベンツ SLK 55 AMG を発売

- ・ 気筒休止システムを備えた新開発直噴エンジンにより70%以上の燃費向上
- ・ AMG専用パーツで精悍に仕上げられたエクステリアと、上質なインテリア
- ・ エグゾーストフラップを搭載した新型 AMG スポーツエグゾーストシステム

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:ニコラス・スピークス、本社:東京都港区)は、メルセデス・ベンツの2シーターオープンカー「SLKクラス」のハイパフォーマンスモデル「SLK 55 AMG」を、本日より全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じ発売いたします。なお、お客様への納車時期は2012年6月頃より開始する予定です。

新型 SLK 55 AMG は、新開発の 5.5 リッター V 型 8 気筒直噴エンジンを搭載し、従来モデルに比べ最高出力を約 17%、最大トルクを約 6%向上させました。また、気筒休止システムや ECO スタートストップ機能等の最新テクノロジーを採用し、燃費性能を従来モデルより 70%以上向上させた結果、圧倒的な走行性能とクラストップレベルの環境適合性を両立したハイパフォーマンスロードスターとなりました。

新型 SLK 55 AMG の特長

- ・ AMGシリンダーマネジメント(気筒休止システム)、ECOスタートストップ機能を備え、最高出力310kW(422PS)、最大トルク540Nmを発生させると同時にJC08モード燃費11.2km/Lを達成した新開発5.5リッターV型8気筒直噴エンジン
- ・ 3つの走行プログラムモードを備えるAMGスピードシフトPLUS 7G-TRONICはシフトダウン時の自動ブリッピング機能、高負荷でのシフトアップ時に点火および燃料噴射を制御し、シフトタイムを短縮
- ・ エグゾーストフラップを備えたAMGスポーツエグゾーストシステムにより、スポーツ走行時のエモーショナルなサウンドとクルージング時の心地よいサウンドを両立
- ・ ダイレクトステアリングシステムとトルクベクトリングブレーキ、AMGスポーツサスペンションの採用により、俊敏なハンドリングを実現
- ・ 0~100km/h加速4.6秒、最高速度250km/h(リミッター作動)の圧倒的な動力性能
- ・ オプションのAMGハンドリングパッケージでは専用AMGスポーツサスペンション、リミテッド・スリップ・デフ等により運動性能を一層向上

メーカー希望小売価格(消費税込み)は以下の通りです。

Page 2

モデル	ステアリング	メーカー希望小売価格 ()内は消費税抜き車両本体価格
SLK 55 AMG	左	¥10,900,000 (¥10,380,953)

* 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。

なお、SLK 55 AMGにもメルセデス・ケア(3年間走行距離無制限の無料修理・無料メンテナンスと24時間ツーリングサポート)が適用されます。また、メルセデス・ケアの一般保証および24時間ツーリングサポートを有償にて最大2年間延長するプログラム「My Mercedesサポート」もご用意しております。



SLK 55 AMG (AMGハンドリングパッケージ装着車)

AMG 専用デザインによる力強いエクステリア

新型 SLK 55 AMG のエクステリアは SLK の基本フォルムを踏まえながら、各部に AMG 独自のスタイリングを加えました。フロントには AMG 専用ラジエターグリル(ハイグロスブラック&クロームルーバー)、AMG 専用フロントバンパー、AMG LED ドライビングライトを備え、力強い雰囲気醸し出しています。

さらに 3 つのフィンを備えたブラックディフューザー、AMG スポーツエグゾーストシステム(デュアルツインクロームエグゾーストエンド)、ダークティンテッドテールライトがスポーティかつ精悍なリアデザインを形成しています。また、AMG トランクリッドスポイラーリップは、リアビューを引き締めるだけでなく、リアアクスルに働く揚力を抑えることで高速安定性を高めます。

上質でスタイリッシュなインテリア

インテリアはジェット機を連想させるエアコン吹き出し口、ブラッシュドアルミニウムインテリアトリムを採用、またダッシュボード中央には IWC デザインによる AMG 専用アナログ時計を備え、洗練された室内空間を作り出しています。上部と下部をフラットにした AMG パフォーマンスステアリングやスポーツドライビング時にもしっかりと身体をホールドする AMG スポーツシートには高品質のナッパレザーを採用しています。

新型自然吸気 8 気筒エンジン

新型 M 152 エンジンは、5.5リッターV8 ツインターボエンジン(M 157)をベースに開発したもので、排気量(5,461cc)やボア×ストローク(98.0×90.5mm)、ECO スタートストップ機能、ガソリン直噴など多くの共通点を備える一方で、インテーク・ダクトやシリンダーヘッドを新設計するとともに、バルブ駆動、オイル供給システム、クランクケースには様々な改良を加えています。

先進技術の独自な組み合わせ

高性能 M 152 エンジンは、さまざまな先進技術を独自の形で融合させたもので、スプレーガイド式燃焼システムとピエゾインジェクター(噴射圧力 200 バール)を組み合わせたガソリン直噴ユニットです。さらに気筒休止システムや 100%アルミニウムクランクケース(ダミーヘッドホーニング加工)、4 バルブデザイン(連続カムシャフト・タイミング・アジャスタ付き)、高い圧縮比(12.4)、ECO スタートストップ機能、オルタネータマネジメントを備えています。

AMG シリンダーマネジメント(気筒休止システム)

燃焼効率の大幅改善を実現したのが、新開発の AMG シリンダーマネジメント(気筒休止システム)です。パーシャルロードで 2、3、5、8 番シリンダーを停止し、燃費を大幅に低

減するシステムで、同様のシステムは、モータースポーツの最高峰、F1 の V8 エンジン (最高出力約 750hp) にも採用されています。F1 においても重要な要因となる効率を高めるため、低速コーナリング時やセーフティカー出動時、ピットストップ時などに、8 本のシリンダーのうち 2 本または 4 本を停止するものです。

シリンダーカットオフ機能は、“C”モード走行の場合に 800~3,600rpm の広い回転域で動作します。シリンダーカットオフの ON/OFF や動作中のシリンダー数(4 気筒または 8 気筒)は、インストルメンタルパネルの AMG メインメニューに表示されます。なお、4 気筒モードにおいても最大トルクは 230Nm と、ほとんどのシーンですぐれた加速を確保するのに十分なレベルとなっています。より大きなパワーが必要となり、パーシャルロード域から出た場合は、2、3、5、8 番シリンダーが起動します。この 4 気筒モードから 8 気筒モードへの切り替えは瞬時に行われ、エンジン回転数 3,600rpm の場合、切り替えに要する時間はわずか 30 ミリ秒となっています。

バルブを閉じ、燃料供給と点火を停止

AMG シリンダーマネジメントシステムにおいては、シリンダーヘッド内の油圧式バルブラッシュアジャスター 16 個と複雑なオイル供給システムが高度に連動しています。このラッシュアジャスターはシリンダーヘッドに内蔵されており、シリンダーカットオフ時に、シリンダー 2、3、5、8 番の吸気バルブと排気バルブを閉じた状態に保ちます。また、同時に燃料供給と点火も停止されます。これにより停止した 4 本のシリンダーの負荷変化による損失を低減するとともに、残りのシリンダーの効率を高めています。これは、動作点がより高い負荷域に移ることによるものです。ラッシュアジャスターは小型軽量で、正確なバルブトレイン動作と最大 7,200rpm のエンジン回転数を実現します。

シリテック・シリンダーライナーを備えた 100%アルミニウムクランクケース

クランクケースは 100%アルミニウムダイカスト製で徹底的な軽量構造の追求によりエンジン重量を 187kg (乾燥重量) まで軽量化しました。フリクション低減のためにピストンリングにはカーボンコーティングを施すとともに、摩耗特性も最適化しています。また、シリテック・シリンダーライナーを採用することで、ピストンが運動する際の摩擦を低減しています。

4 バルブデザインに連続カムシャフト・アジャスタを搭載

各シリンダーには大型の吸排気バルブ 4 個を備え、燃焼室の充填効率を高めています。高い熱負荷を受ける排気バルブは中空構造とし、ナトリウム冷却を採用しました。4 本のオーバーヘッドカムシャフトにより、メンテナンスをあまり必要としない低摩擦カムフォロアーを介して計 32 個のバルブを制御しています。吸気側と排気側での 40°の範囲にわたる連続カムシャフト・タイミング・アジャスタは、エンジン負荷とエンジン回転数に応じて行われ、高い出力とトルクを導き出しているほか、低回転時の安定したアイドルも実現し

ています。また、エンジン回転数に応じてバルブオーバーラップを変化させ、燃焼室への Page 5
混合気供給を最適化するとともに、燃焼済みのガスを効率的に排出します。

ECO スタートストップ機能を標準装備

低燃費の実現に貢献するため ECO スタートストップ機能も採用しています。トランスミッションの“C”モード時に赤信号などで停車するとエンジンを自動的に停止。ブレーキを離すか、アクセルを踏むとただちに再始動するため、速やかに発進することができます。エンジンスタートにおいては、高度なテクノロジーにより快適ですばやい動作を実現しました。まず、回転方向を検出するクランクシャフトセンサーで、停止時の 8 本のピストンの位置を認識しておき、そしてエンジンスタート時には、ピストンの位置が最も有利なシリンダーの燃焼室に燃料を噴射します。なお、エンジンスタートは常時 8 気筒モードで行われます。

ECO スタートストップ機能の作動中は、AMG メインメニューに“ECO”マークが表示されます。シリンダーシャットオフの動作中は“ECO4”、8 気筒モードでは“ECO8”となります。“C”以外の“S”(スポーツ)と“M”(マニュアル)の 2 つのドライビングモードでは、よりパフォーマンスを重視しており、スタートストップ機能はつねに OFF となります。なお、“C”モードでも手動で動作を停止することができます。

オルタネータマネジメントで燃費低減に貢献

さらなる燃費低減対策としてオルタネータマネジメントを採用し、エンジンブレーキ使用時やブレーキング中に運動エネルギーを熱として放出させず、電気に変換してバッテリーに蓄えます。また、車載ネットワークとオルタネータマネジメントの組み合わせにより、オルタネータの電圧を低く抑えることで、エンジンにかかる負荷を軽減しています。これによる燃費節約量は NEDC 基準で約 0.15 リッター/100km、エンジンブレーキやブレーキングが頻繁に必要な市街地では最大 0.2 リッター/100km となります。

エグゾーストフラップを内蔵した新型 AMG スポーツエグゾーストシステム

SLK 55 AMG では、両側にエグゾーストフラップを搭載した新型 AMG スポーツエグゾーストシステムを AMG として初めて採用し、スポーティなドライビングにふさわしいエモーショナルなサウンドと、パーシャルロードで求められる控えめな音を両立させます。

このシステムは 2 個のリアサイレンサーそれぞれにフラップを設け、アクセルペダルの踏み込み量やエンジン回転数に応じて、ロジック制御により可変的に動作させます。低負荷およびエンジン回転数 2,000rpm 以下では、フラップは閉じたままで、排出ガスの経路を長くし、追加した減衰部を通過させます。その結果排気音が快適に感じられる音量まで小さくなるとともに、不快な周波数の音が効果的に抑制されます。そのやわらかなサウンドは、とくにシリンダーシャットオフが動作する 4 気筒モードで顕著に感じられます。

加速時には、フラップが 15°、30°、最大 50°まで開き、排出ガスの一部は長い経路を通り、残りは短い経路を通ります。これにより、響きのよいエンジンサウンドが発生します。さらに、8 気筒モードでエンジン回転数が高いフルロードの場合は、両側のフラップを完全に開くことで、V8 エンジンならではのパワフルなサウンドを発生させます。

AMG スピードシフト PLUS 7G-TRONIC

トランスミッションは、コントロールエフィシエンシー(C)、スポーツ(S)、マニュアル(M)の 3 つの走行プログラムモードを備えた AMG スピードシフト PLUS 7G-TRONIC を採用しました。シフトダウン時の自動ブリッピング機能、フルロードでのシフトアップ時に瞬時に行われる点火および燃料噴射の停止によってシフト時間が短縮されます。また、遠心振り子式のトーションダンパーを採用することで、4 気筒モード時に発生する振動を最小限に抑えるとともに、快適性を改善しています。

ダイナミックなドライビングを提供するシャーシ

優れた減衰力特性を持つショックアブソーバーを採用した AMG スポーツサスペンションは、コーナリング時の車両安定性を高めるトルクベクトリングブレーキと舵角に応じてギア比を変化させるダイレクトステアリングを組み合わせることですぐれた運動特性と俊敏なハンドリングを実現しています。

AMG 専用の 3 ステージ ESP[®]は、センターコンソールの ESP[®]ボタンにより、“ESP[®] ON”、“ESP[®] SPORT”、“ESP[®] OFF”の 3 つのモードを切り替えることができます。ブレーキはドリルドベンチレーテッドディスク(前 360×36 mm、後 330×22mm)を搭載した AMG 強化ブレーキシステムを採用し、ペダル操作に対する優れたレスポンスと強大な制動力、高い耐フェード性を実現しています。

運動性能をいっそう高める AMG ハンドリングパッケージをオプション設定

SLK 55 AMG には、スポーツ性をいっだんと高める AMG ハンドリングパッケージをオプション設定しています。ハードなチューニングが施された AMG スポーツサスペンション、コーナリング性能を高めるリミテッド・スリップ・デフ等が採用され、インテリアにはグリップにアルカンターラをあしらった AMG パフォーマンスステアリングや AMG カーボンインテリアトリムにより上質感がいっそう高められています。